

令和4年度東部地区道徳教育研究協議会

春日部市立飯沼中学校

【B部会（2学年）】

主 題 名 多くの人々の支えに気づき、感謝の心をもつ  
内容項目 B 思いやり、感謝  
教 材 名 「ピースサイン」  
(彩の国の道徳「自分をみつめて」)



多面的・多角的に考えるための  
グループでの話し合い活動



自由な思考を促す発問の工夫



学びを深める振り返り

## 1 各グループからの発表（ワークショップ型分科会）

○日頃の学級経営が素晴らしい。

○導入で活用した校内の掲示物は、生徒が自分事として考えるきっかけとなっていた。掲示物に書いてある「ありがたいがいっぱいの学校」がよいキーワードとなっていた。授業を展開していく中で、掲示物を再び提示すると心の変容が見られるかもしれない。

○グループでの話し合いでは、多様な考えが出てよかった。生徒から様々な考えが出た後は、問い返し等で、さらに発言内容を深めていけるとよい。また、グループで話し合わせるときは、互いの考えを共有させたいのか、深めていきたい視点があるのか等、生徒自身がねらいをもって話し合いができるようにしたい。

○タブレット端末を活用することで、自分の考えを表現する機会を増やすことができる。



## 2 指導講評

○問題意識を高めることの一つとして、導入の工夫がある。本時では、校舎内にある掲示物の内容を効果的に活用していた。

○自分との関わりで考えさせることが大切である。主人公に共感するだけでなく、自分事として捉えて発言しているのかという点がポイントとなる。

○対話的な学び等から、物事を多面的・多角的に考えることができる。自分で考えた後、他者の考えを知って話し合うことで、さらに自分の考えを深めることができる。

○発言した生徒には、「なぜ、そのように思ったのか？」というように根拠を聞くと、話し合いが深まる。また、生徒に揺さぶりをかけるタイミングも大切である。

○主人公と相手方との心の結びつきが感じられるような板書の工夫もできるとよい。

